



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年10月30日

上場会社名 サンワテクノ株式会社

上場取引所 東

コード番号 8137 URL <https://www.sunwa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 花山 一八

TEL 03-5202-4011

四半期報告書提出予定日 2018年11月12日

配当支払開始予定日

2018年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	72,164	7.2	2,129	20.1	2,312	18.5	1,651	21.4
2018年3月期第2四半期	67,348	34.7	1,773	63.9	1,951	76.9	1,359	78.0

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 648百万円 (71.8%) 2018年3月期第2四半期 2,293百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	103.23	
2018年3月期第2四半期	98.11	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	75,554	31,611	41.8
2018年3月期	77,254	27,993	36.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 31,611百万円 2018年3月期 27,993百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		14.00		16.00	30.00
2019年3月期		17.00			
2019年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	2.2	4,400	6.4	4,500	3.5	3,150	2.1	196.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	16,044,000 株	2018年3月期	14,438,000 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	997 株	2018年3月期	579,973 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	15,995,515 株	2018年3月期2Q	13,858,254 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2018年11月6日(火)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後当社ウェブサイトに掲載する予定です。
3. 「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 仕入、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、米国の政治動向、通商問題の動向及び金融資本市場の変動の影響等に伴い景況に対する不透明感があるものの、政府による継続的な経済政策効果を背景に、企業収益や雇用・所得環境が改善してきており、景気は緩やかな回復基調の動きが続いております。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、自動車向けの需要が引き続き堅調を維持しておりますが、半導体関連業界・産業機械業界につきましては、スマートフォン関連の需要が一巡し、一部では当初見込んでいた市場の伸長に対して低調な展開となりました。

このような環境の中で当社グループは、第9次中期経営計画（**Challenge 1500**）の最終年度も引き続き重点施策を推進しております。電機・電子・機械分野の最新技術と優れた製品情報を融合させたコアビジネスに、ものづくりの先鋭化をサポートするエンジニアリング力とグローバルSCMソリューションをプラスし、グローバルに活躍する独立系技術商社として新たな価値を生み出す取組みを行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高721億64百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益21億29百万円（前年同期比20.1%増）、経常利益23億12百万円（前年同期比18.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益16億51百万円（前年同期比21.4%増）となり、前年同期を上回る結果となりました。

部門別の業績は次のとおりであります。

[電機部門]

電機部門では、FPD（フラットパネルディスプレイ）関連業界向け及び半導体関連業界向けの電機品の販売が増加いたしました。この結果、当部門の売上高は133億32百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

[電子部門]

電子部門では、自動車関連業界、FPD関連業界及びアミューズメント向けの電子部品の販売が増加いたしました。この結果、当部門の売上高は535億53百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

[機械部門]

機械部門では、産業機械業界向け及び自動車関連業界向けの設備機器の販売が増加いたしました。この結果、当部門の売上高は52億78百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

① 日本

FPD関連業界向けの電機品、電子部品の販売、半導体関連業界向けの電機品の販売、自動車関連業界向けの電子部品、設備機器の販売、アミューズメント向けの電子部品の販売及び産業機械業界向けの設備機器の販売が増加いたしました。この結果、売上高576億53百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益10億65百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

② アジア

アジア地域では、産業機械業界向けの電子部品、生産設備の販売が増加いたしました。電機品の販売は一部減少いたしました。この結果、売上高186億46百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益7億78百万円（前年同期比15.5%増）となりました。

③ 欧米

欧米では、FPD関連業界向けの電機品の販売、産業機械業界向けの電子部品の販売及び自動車関連業界向けの設備機器の販売が増加いたしました。この結果、売上高42億4百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益2億75百万円（前年同期比69.2%増）となりました。

④ その他

売上高は7億91百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益9百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、755億54百万円となり前連結会計年度末に比べ16億99百万円減少しました。受取手形及び売掛金の減少が主な要因であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、439億42百万円となり前連結会計年度末に比べ53億17百万円減少しました。支払手形及び買掛金の減少が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、316億11百万円となり前連結会計年度末に比べ36億17百万円増加しました。資本金及び資本剰余金の増加が主な要因であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ40億34百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には121億47百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は12億47百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益（22億81百万円）、売上債権の減少（50億37百万円）等による増加がある一方で、たな卸資産の増加（9億24百万円）、仕入債務の減少（39億97百万円）等により一部減少したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億19百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出（57百万円）等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は30億1百万円となりました。これは主に、株式の発行による収入（23億25百万円）、自己株式の処分による収入（8億45百万円）による増加がある一方で、配当金の支払（2億21百万円）等により一部減少したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

各国政策の動向による影響を受けて、当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界の先行きは不透明感が拭えず、当社グループの業績もその影響を避けられず、主力のF A・産業機器業界向けの販売が当初の計画を下回る水準で推移していることから、通期の業績予想を修正いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,596	12,631
受取手形及び売掛金	39,756	34,894
電子記録債権	6,321	5,809
商品及び製品	10,148	10,942
仕掛品	4	6
その他	1,152	989
貸倒引当金	△128	△115
流動資産合計	65,852	65,158
固定資産		
有形固定資産	3,005	3,022
無形固定資産	168	127
投資その他の資産	8,227	7,246
固定資産合計	11,401	10,395
資産合計	77,254	75,554
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,492	14,775
電子記録債務	15,806	15,234
短期借入金	4,522	4,681
1年内返済予定の長期借入金	1,200	1,800
未払法人税等	583	569
引当金	—	39
その他	2,472	1,897
流動負債合計	43,077	38,997
固定負債		
長期借入金	3,500	2,900
長期末払金	613	226
役員退職慰労引当金	76	81
退職給付に係る負債	872	874
その他	1,119	863
固定負債合計	6,182	4,945
負債合計	49,260	43,942
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,553	3,727
資本剰余金	1,958	3,548
利益剰余金	19,647	21,077
自己株式	△428	△0
株主資本合計	23,731	28,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,665	2,938
為替換算調整勘定	596	321
その他の包括利益累計額合計	4,262	3,259
純資産合計	27,993	31,611
負債純資産合計	77,254	75,554

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	67,348	72,164
売上原価	59,403	63,555
売上総利益	7,945	8,609
販売費及び一般管理費	6,172	6,479
営業利益	1,773	2,129
営業外収益		
受取利息	5	8
受取配当金	42	54
仕入割引	18	20
受取家賃	55	64
為替差益	54	76
その他	39	84
営業外収益合計	216	308
営業外費用		
支払利息	25	51
手形売却損	0	—
株式交付費	—	19
売上債権売却損	7	23
その他	5	31
営業外費用合計	39	126
経常利益	1,951	2,312
特別損失		
固定資産売却損	—	30
特別損失合計	—	30
税金等調整前四半期純利益	1,951	2,281
法人税等	591	630
四半期純利益	1,359	1,651
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,359	1,651

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	1,359	1,651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,030	△727
為替換算調整勘定	△96	△275
その他の包括利益合計	934	△1,003
四半期包括利益	2,293	648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,293	648
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,951	2,281
減価償却費	151	153
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△15	6
受取利息及び受取配当金	△48	△62
支払利息	25	51
為替差損益 (△は益)	△14	27
固定資産売却損益 (△は益)	—	30
売上債権の増減額 (△は増加)	△667	5,037
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,914	△924
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,250	△3,997
その他	△314	△739
小計	△596	1,864
利息及び配当金の受取額	48	62
利息の支払額	△24	△51
法人税等の支払額	△728	△628
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,301	1,247
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35	△57
有形固定資産の売却による収入	—	45
投資有価証券の取得による支出	△17	△20
その他	△13	△86
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66	△119
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	118
長期借入れによる収入	2,400	—
リース債務の返済による支出	△61	△67
株式の発行による収入	—	2,325
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	—	845
配当金の支払額	△194	△221
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,144	3,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26	△94
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	750	4,034
現金及び現金同等物の期首残高	6,275	8,112
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,026	12,147

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、公募による新株式発行（一般募集）及び公募による自己株式の処分（一般募集）については、2018年4月16日に払込を受けました。

また、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当による新株発行については、2018年5月16日に払込を受けました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が1,174百万円、資本剰余金が1,590百万円増加、自己株式が427百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が3,727百万円、資本剰余金が3,548百万円、自己株式が0百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2017年4月1日至2017年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	47,299	16,130	3,513	66,944	404	67,348	—	67,348
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,086	1,603	245	6,934	343	7,278	△7,278	—
計	52,385	17,734	3,758	73,879	747	74,627	△7,278	67,348
セグメント利益又は損 失(△)	935	674	162	1,772	△3	1,769	4	1,773

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額4百万円には、セグメント間取引消去17百万円及び棚卸資産の調整額△12百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2018年4月1日至2018年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	51,915	17,154	2,712	71,782	382	72,164	—	72,164
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,738	1,491	1,492	8,723	408	9,131	△9,131	—
計	57,653	18,646	4,204	80,505	791	81,296	△9,131	72,164
セグメント利益	1,065	778	275	2,119	9	2,129	0	2,129

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額0百万円には、セグメント間取引消去12百万円及び棚卸資産の調整額△11百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 仕入、受注及び販売の状況

①商品仕入実績

当第2四半期連結累計期間の商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	49,661	104.6
アジア (百万円)	12,716	101.4
欧米 (百万円)	1,697	84.8
報告セグメント計 (百万円)	64,076	103.3
その他 (百万円)	275	101.3
合計 (百万円)	64,351	103.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
日本	52,054	102.4	18,205	104.8
アジア	17,667	101.7	8,473	121.8
欧米	3,013	90.1	1,652	160.2
報告セグメント計	72,735	101.7	28,332	111.7
その他	416	109.8	262	530.4
合計	73,151	101.7	28,595	112.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	51,915	109.8
アジア (百万円)	17,154	106.3
欧米 (百万円)	2,712	77.2
報告セグメント計 (百万円)	71,782	107.2
その他 (百万円)	382	94.6
合計 (百万円)	72,164	107.2

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。